

平松一夫博士記念号の発刊に際して

平松一夫教授は、2016年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。平松一夫教授は、1960年に関西学院中学部にご入学され、爾来50有余年にわたって、まさに「関学人」として上ヶ原の地に過ごされ、とりわけ1975年4月に専任講師として商学部にご就任されてからは、41年間の長きにわたって本学の研究と教育に多大のご貢献をなされました。

平松一夫教授は、商学部においては主に情報会計や国際会計の領域の諸講義をご担当になり、そのゼミナールに集う学生は数多く、一門からは学界、実業界に多くの優秀な同窓が巣立っていきました。また、学内にあっては、1996年4月にご就任の国際交流部長、1997年4月にご就任の入試部長を経て、2002年4月より2期6年間にわたって学長の職にあられ、関西学院大学のグローバルな展開へと向けて、しっかりとした基盤を構築されました。また、学外にあっては、大蔵省、金融庁、文部科学省等の各種審議会等に名を連ねられるなど、わが国における会計制度と会計教育の発展に尽くされました。

さらに平松一夫教授は、この上ヶ原の地を拠点とされながらも、そのご活躍の場は、日本はもとより世界へと拡がり、2009年8月にご就任のアメリカ会計学会副会長を経て、同年9月には日本会計研究学会会長にご就任されました。さらに2013年2月には世界会計学

会会長にご就任され、まさに世界各国の研究者の先頭に立って会計学研究を国際的水準で切り拓くという要職をお務めになりました。

こうした学界における傑出したご活躍の背景に、優れたご研究の多大な蓄積があることは言うまでもなく、「日本会計研究学会・太田賞」を初めとして国内外の数多くの学会賞を受賞されたことに加えて、2005年8月には、アメリカ会計学会より、「国際会計部門・卓越した国際会計教育者賞」を受賞されました。まさに、研究者としても、教育者としても平松一夫教授が国際水準で卓越した評価を得られていることの証左であります。

私たちは、いま平松一夫教授をお送りするにあたって、これまでの先生のご貢献を銘記し、記念するために、そしてまた先生への深い感謝の気持ちを表すために、ささやかではありますが、この論集を編んで先生に捧げます。先生の今後のますますのご健勝とご活躍を、同じ上ヶ原に集う「関学人」として心よりお祈り申し上げますとともに、後進の私どもを変わらずお導き下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この記念号の刊行に際してご寄稿下さった先生方、ならびに編集に携わって頂いた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2016年3月

商学部長 寺地孝之